

政策 07 人と人がふれあうまちづくり

施策 02 にぎわいの創出とまちへの愛着意識の向上

あるべき姿

施策がめざす尾張旭市の姿 ・祭りやイベント、市民同士のふれあい、居住するなかで、わがまちに「愛着」を感じる市民が増えています。
 ・祭りやイベント、まちの魅力を活用してにぎわい（交流人口）が創出されています。

施策の成果状況と評価

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	わがまちに「愛着」を感じる市民の割合（％） 【産業課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H30)	(R02)	(R03)	(R05)	
		78.3	-	80.0	80	☀️ (向上)
評価	(状況) 前回まちづくりアンケートを実施したR元の実績値に比べ、現状値が1.3ポイント減少した。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、市民祭が中止になる等、イベントへの参加者は減少し、地元の魅力を意識する機会が減ったことが、要因の一つである。					☔️ (低下)
						🏰 (達成)

指標	観光入込客数（人） 【産業課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H30)	(R02)	(R03)	(R05)	
		1,142,241	1,122,836	1,099,081	1,250,000	☔️ (低下)
評価	(状況) 前年度の実績値に比べ、現状値が23,755人減少した。 (原因) 前年度全て中止になった尾張旭まつりのうち、さくらまつりは開催することができ、来場者数は21,000人であった。また、森林公園及び森林公園ゴルフ場の利用者が、新型コロナウイルス感染症による一部施設の一時的な閉鎖などにより、約44,000人減少したことが要因である（指定管理者は、屋内施設でもコロナ対策が進み、利用者が他の施設等に分散したと推察）。					☔️ (低下)
						(---)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 イベント等を通じたふれあいの推進

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	市民同士のふれあいの場・機会への参加の割合（％）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【産業課】	43.4	-	33.3	55	☂ (低下)
評価	(状況) 前回まちづくりアンケートを実施したR元の実績値に比べ、現状値が9.5ポイント減少した。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントの多くが中止となったことが要因である。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業01 イベント等を通じたふれあいの推進

指標	観光・交流イベント等の参加者数（人）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【産業課】	120,357	8,546	28,954	130,000	☂ (低下)
評価	(状況) 前年度の実績値に比べ、現状値が20,408人増加した。 (原因) 前年度全て中止になった尾張旭まつりのうち、さくらまつりは開催することができ、来場者数は21,000人であったことが要因である。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業02 交流人口増加へのPRの推進

指標	マスコミへの掲載件数（観光・交流）（件）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【産業課】	38	45	112	50	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度の実績値に比べ、現状値が67件増加した。 (原因) 旭色プロジェクトやがんばるMYあさひ、紅茶に関する事業や市内飲食店等が多く掲載されたり、新型コロナウイルス感染症の影響により前年度開催できなかった50周年記念事業が開催されたことが要因である。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						🏰 (達成)

基本事業02 交流人口増加へのPRの推進

指標	観光・交流資源数（点）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【産業課】	10	10	11	11	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度の実績値から1増加した。 (原因) 令和2年度から実施中の、紅茶といちじくを活用した新商品・新メニュー開発プロジェクト「旭色」が、新聞で大きく取り上げられるなど、市内外から人を呼び込むための観光・交流資源となったため。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						🏰 (達成)

基本事業03 国際交流・地域間交流の推進

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	外国人や国内他地域のひと相手の文化を尊重して接することができる市民の割合（％） 【多様性推進課】	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
			65.3	-	71.3	75
評価	(状況)平成30年度の実績値に比べ、現状値が6.0ポイント増加した。 (原因)コロナ禍になる令和元年度まで、全国的に外国人数が大幅に増えた。観光などの短期間の滞在だけでなく、労働で入国した外国人も多く、外国人と接触する機会が増え、相手の文化を尊重して接することができるという回答する市民が増えた。また、まちづくりアンケートの調査期間にトンガ沖大噴火による津波等の災害報道があり、共感が増したことも一因である。					対 前年度